

## 米国ニューヨーク補習授業校幼児部における 日本語・日本文化教育の現状と課題（Ⅳ）

ブラック妹尾祐美子（ニューヨーク補習授業校ロングアイランド校）・

北川歳昭（教育心理学科）

### A report about Japanese teaching method for language and culture in early childhood education at Japanese Weekend School in New York (Ⅳ)

Yumiko SENOO BLACK (Japanese Weekend School in New York)

Toshiaki KITAGAWA (Department of Educational Psychology, Shujitsu University)

#### 抄 録

多民族、多文化国家であるアメリカの大都市ニューヨークに設置されている日本語補習授業校幼児部（幼稚部）担任の立場から、第二言語としての日本語学習の困難さ、地域特性や環境特性による日本文化の浸透の難しさなど、異文化の中での日本の幼児教育の現状と課題について、事例を紹介しつつ論ずる。著者らはすでに前報告までに、ニューヨーク補習授業校の概要と特色、クラス子ども達やその保護者の実際事例をもとに、日本語を第二言語、日本文化を異文化として学ぶ日系幼児の実態と現状を報告してきた<sup>1) 2) 3)</sup>。本稿では、特にニューヨークという地域性や時代性を反映した、特色ある家族形態の中でのバイリンガル教育（多言語環境）に焦点を当て論及する。

キーワード：異文化間日本語幼児教育、第二言語、バイリンガル、  
地域特性、日本文化、ハーグ条約、家族構成